

2. 教科に関する調査の結果（概要）

(1) 調査問題の趣旨・内容，課題等，指導改善のポイント

○調査問題の趣旨・内容

国語A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ スピーチをより分かりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する。
■ それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す。
■ 見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する。
■ 「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す(あやしう)。

国語B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 比喩を用いた表現に着目し，感じたことや考えたことを書く。
■ スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す。
■ アンケートをとる対象と質問内容，その質問についての回答を基にした内容載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く。

○課題等

主な特徴

- 伝えたい事実や事柄について，根拠として取り上げる内容が適切かどうかを吟味する点に，依然として課題がある。〔B¹三，B²三〕
- 見通しをもって必要な情報を集める際に，集める内容を構想することはできているが，その情報が必要であると考え理由を明確にする点に課題がある。〔B³三〕

話すこと・聞くこと

- ◇(AB) 目的に応じて資料を効果的に活用して話すことは，相当数の生徒ができている。〔A²一，B²一〕
- ◆(AB) 相手の反応を踏まえながら話すことや，相手に分かりやすい語句を選択して話すことに課題がある。〔A⁷一，B²三〕

書くこと

- ◇(A) 文章を読み返し，語句の使い方を工夫して書くことは，相当数の生徒ができている。〔A³一〕
- ◆(B) 根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに依然として課題がある。〔B¹三〕
- ◆(B) 書く目的を意識し，必要な情報を集めるための見通しをもつことに課題がある。〔B³三〕

読むこと

- ◇◆(AB) 登場人物の描写に注意して読んだり，登場人物の言動の意味を考えながら読んだりすることはできているが，話の展開を踏まえて一つ一つの叙述の意味を捉え，内容を理解することに課題がある。〔A⁶一，二，B¹一，二〕

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ◇(A) 文脈に即して漢字を正しく読むことは，相当数の生徒ができている。〔A⁹二1，2，3〕
- ◆(A) 語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使うことについては，一部に課題がある。〔A⁹三イ〕
- ◆(A) 事象や行為などを表す多様な語句について理解することに課題がある。〔A⁹五〕
- ◆(A) 行書の特徴を理解したり，楷書との違いを理解したりすることに課題がある。〔A⁹六1，2〕

◇…相当数の生徒ができている点 ◆…課題のある点 ()内の記号は，A…国語A，B…国語B
〔 〕内の記号は，問題番号

○指導改善のポイント

話すこと・聞くこと

○ 相手や場を意識して話す指導の工夫

- ・ 相手や場を意識して話す力を身に付けるために、第1学年では相手の反応を踏まえながら話すこと、第2学年では異なる立場や考えを想定して話すこと、第3学年では場の状況や相手の様子に応じて話すことなどについて指導するとともに、相手に分かりやすい語句を選択して話すように指導する必要がある。その際、事前に想定した話し方や内容だけでなく、うなずきや表情などという相手の反応から、話の受け止め方や理解の状況を捉えて話すように指導することが大切である。また、相手に自分の意図が十分に伝わっていないと感じられた時には、分かりやすい語句に言い換えたり補足したりするように指導することも重要である。話した後は、話し方や内容が適切であったかどうかについて相手に尋ねたり、記録した動画を見たりして話し手と聞き手の両方の立場から振り返ることも効果的である。

書くこと

○ 根拠として取り上げる内容が適切かどうかを吟味して書く指導の工夫

- ・ 自分の考えや意見を根拠を明確にして書く力を身に付けるために、根拠として取り上げる内容が、目的や意図に合っているかどうかや、自分の考えや意見を述べるためにふさわしいものであるかどうかについて常に吟味するように指導する必要がある。その際、書いた文章を推敲したり交流したりする際の観点の一つとして取り上げることが大切である。

○ 書く目的を意識し、見通しをもって必要な情報を集める指導の工夫

- ・ 書く目的を意識し、見通しをもって必要な情報を集める力を身に付けるために、自ら課題を決めて文章を書く言語活動を構想するとともに、情報の提示の仕方やその効果について考えながら情報を集めるように指導する必要がある。その際、何のために文章を書くのかという目的を踏まえるように指導することが重要である。

読むこと

○ 話の展開を踏まえて一つ一つの叙述の意味を捉える指導の工夫

- ・ 目的に応じて一つ一つの叙述の意味を捉える力を身に付けるために、着目した語句や文が含まれる部分を読んで考えるだけでなく、文章の中の時間的、空間的な場面の展開などに注意して文章全体を読んだ上で考えるように指導する必要がある。その際、生徒の実態に応じて、話の展開に注意して読むとはどういうことなのかについて、文章の具体的な内容を取り上げながら説明することも大切である。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○ 多様な語句について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする指導の工夫

- ・ 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるために、それぞれの語句が話や文章の中でどのように関連付けて使用されているか、自分が表現するときどのように活用すればよいかについて辞書等を用いながら考える機会を意図的に設ける必要がある。

○ 行書の特徴を理解する指導の工夫

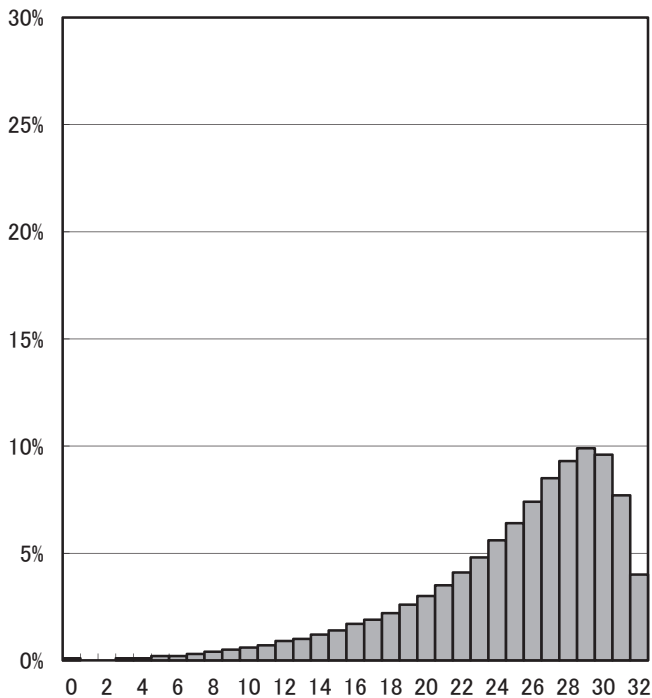
- ・ 行書の特徴を理解して書く力を身に付けるために、「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」などの行書の特徴を表す言葉に留意し、それぞれどのような書き方なのかを理解した上で文字を書くように指導する必要がある。

(2) 集計結果 (正答等の状況)

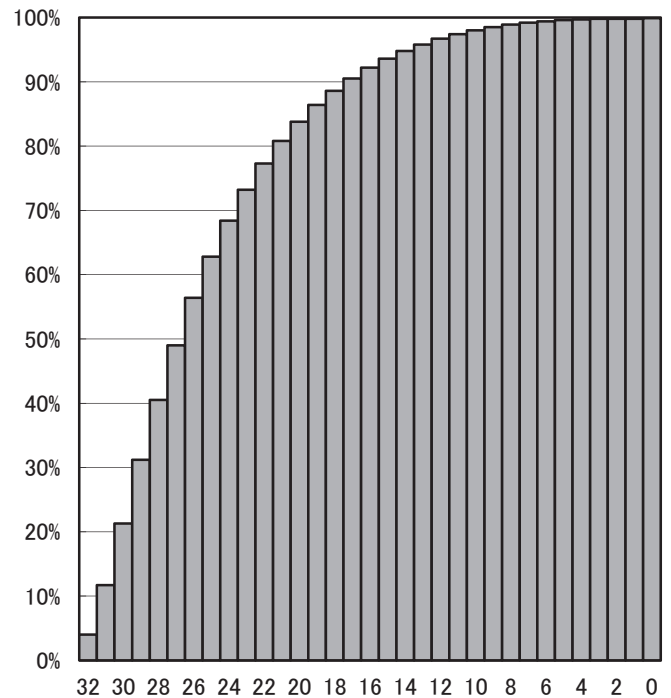
【国語A】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,023,860人	24.9問/32問	77.8%	26.0問	5.7	29問

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



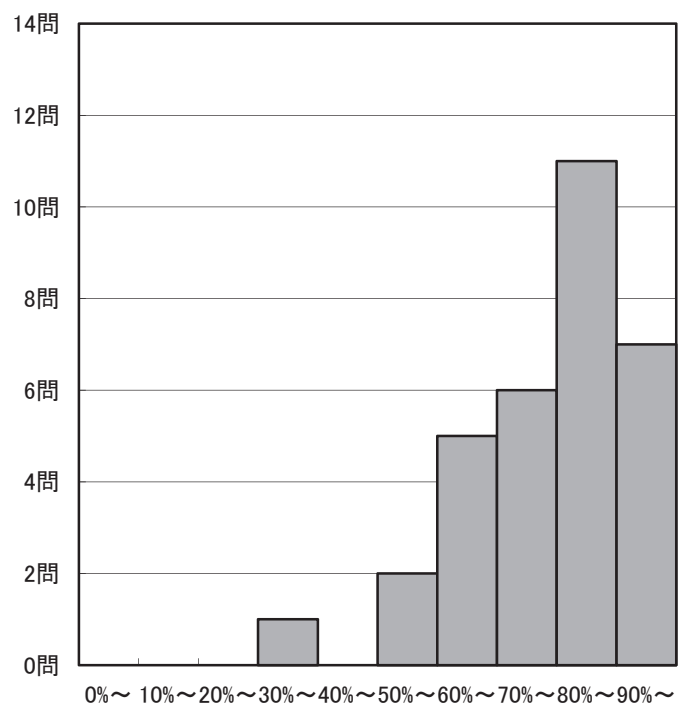
正答数累積グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 累積割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	4	75.9
	書くこと	4	86.0
	読むこと	6	74.3
	伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	18	77.5
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	0	
	話す・聞く能力	4	75.9
	書く能力	4	86.0
	読む能力	6	74.3
	言語についての知識・理解・技能	18	77.5
問題形式	選択式	22	78.8
	短答式	10	75.5
	記述式	0	

正答率別問題数 (横軸: 正答率, 縦軸: 問題数)



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式			記述式
1	画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する				2 (1) イ (7)					○	○			81.8	0.1
2一	スピーチをより分かりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す	2 ウ							○			○		88.1	0.1
2二	スピーチの構成を説明したものとして適切なものを選択する	事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話す	1 イ							○			○		80.0	0.2
3一	それまでがなってきた様子が読み手により伝わるように書き直す	書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書く		2 エ						○			○		86.2	3.2
3二	一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択する	書いた文章についての助言を基に、自分の表現を見直す		2 オ						○			○		84.7	0.2
4一	見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する	文章の要旨を捉える			1 イ							○	○		81.4	0.2
4二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ			1 エ							○	○		73.4	0.3
5一	〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成を工夫して分かりやすく書く		2 イ						○			○		80.1	0.2
5二	〈推薦者から〉の欄に書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する	目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる		1 ア						○			○		92.9	0.2
6一	登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1 ウ							○	○		75.4	0.4
6二	「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった」の意味として適切なものを選択する				1 ウ								○	○	60.8	0.5
7一	先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す	相手に分かりやすいように語句を選択して話す	1 ウ							○			○		54.8	4.9
7二	結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する	話すための材料を人との交流を通して集める	1 ア							○			○		80.8	0.4
8一	詩について説明したものとして適切なものを選択する	文章の表現の仕方について自分の考えをもつ			2 ウ							○	○		82.2	0.6
8二	二人の交流の様子について説明したものとして適切なものを選択する	文章に表れているものの方見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広げる			1 オ							○	○		72.9	0.8

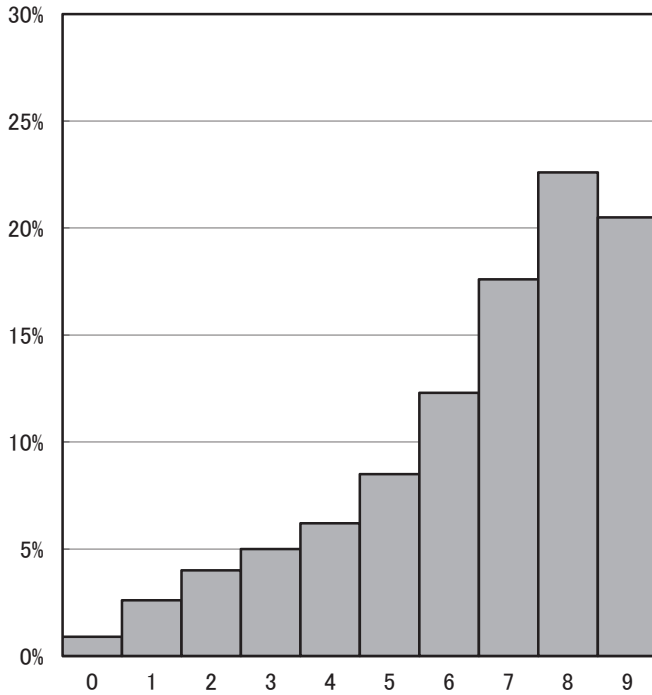
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		
9-1	漢字を書く（組織のキボを大きくする）	文脈に即して漢字を正しく書く				2 (1)ウ (4)					○	○		63.4	15.4
9-2	漢字を書く（雨で運動会が <u>エンキ</u> になる）					2 (1)ウ (4)					○	○		63.0	13.1
9-3	漢字を書く（店を <u>イトナ</u> む）					2 (1)ウ (4)					○	○		85.8	8.0
9ニ1	漢字を読む（ <u>覚悟</u> を決める）	文脈に即して漢字を正しく読む				2 (1)ウ (7)					○	○		98.7	0.9
9ニ2	漢字を読む（ <u>鮮</u> やかな色合い）					2 (1)ウ (7)					○	○		94.6	0.8
9ニ3	漢字を読む（水が <u>垂</u> れる）					2 (1)ウ (7)					○	○		94.4	1.1
9三ア	適切な語句を選択する（ <u>えり</u> を正して話を聞く）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				1 (1)イ (9)					○	○		77.3	0.7
9三イ	適切な語句を選択する（よい結果を早く出したいときは、 <u>急がば回れ</u> といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ）					1 (1)イ (9)					○	○		62.1	0.7
9三ウ	適切な敬語を選択する（先生もこの書店をよく <u>ご利用</u> になるのですね）					2 (1)イ (7)					○	○		85.9	0.6
9三エ	適切な語句を選択する（私は映画が大好きです。 <u>ただし</u> 、映画なら何でも見るわけではありません）					1 (1)イ (2)					○	○		95.6	0.5
9三オ	適切な語句を選択する（チームの勝利を <u>確信</u> する）					2 (1)イ (4)					○	○		94.3	0.6
9四	言い直した意図として適切なものを選択する		助詞の働きについて理解する				2 (1)イ (2)					○	○		91.8
9五	話合いの記録として適切な言葉を考える	事象や行為などを表す多様な語句について理解する				1 (1)イ (9)					○	○		36.5	12.7
9六1	楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する	楷書と行書との違いを理解する				1 (2)イ					○	○		50.0	1.0
9六2	行書で書かれた「和」の特徴の組合せとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する				1 (2)イ					○	○		63.9	1.1
9七1	「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す（あやしう）	古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える				2 (1)ア (4)					○	○		77.7	3.8
9七2	「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する	古典には様々な種類の作品があることを知る				1 (1)ア (4)					○	○		78.6	1.3

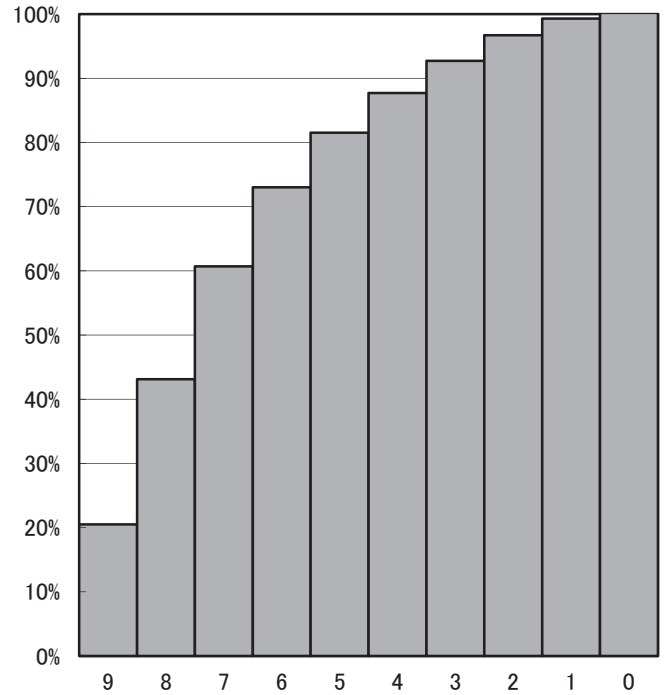
【国語B】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,023,987人	6.5問/9問	72.7%	7.0問	2.2	8問

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）



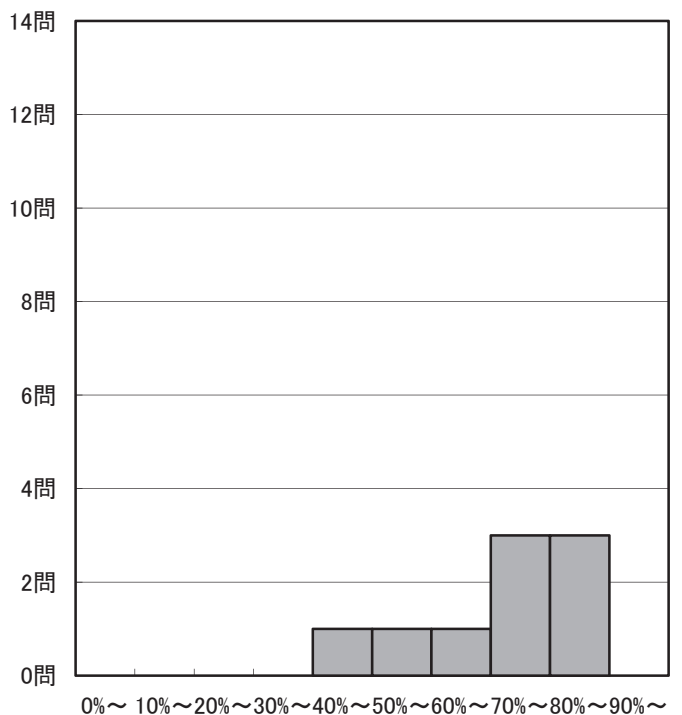
正答数累積グラフ（横軸：正答数，縦軸：累積割合）



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	72.8
	書くこと	4	61.4
	読むこと	4	72.6
	伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	1	42.3
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	3	56.6
	話す・聞く能力	3	72.8
	書く能力	4	61.4
	読む能力	4	72.6
	言語についての知識・理解・技能	1	42.3
問題形式	選択式	5	79.9
	短答式	1	84.5
	記述式	3	56.6

正答率別問題数（横軸：正答率，縦軸：問題数）



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		
1一	本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2 イ				○		○			84.5	0.1
1二	地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する			1 ウ				○			○		84.5	5.1
1三	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く		1 ウ	1 エ	1(1) イ(オ)	○		○	○	○		○	42.3	13.9
2一	スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す	2 ウ					○				○		85.7	0.2
2二	聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	2 エ					○				○		74.6	0.3
2三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す	1 イ	2 ウ			○	○	○				○	58.2	5.6
3一	下書きについての説明として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する		1 イ					○			○		75.8	0.3
3二	太宰治と他の作家との関係を書き直したのとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る			1 カ					○		○		79.1	0.5
3三	アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く	必要な情報を集めるための見通しをもつ		1 ア			○		○				○	69.3	7.2

(3) 知識に関する調査と活用に関する調査の相関等

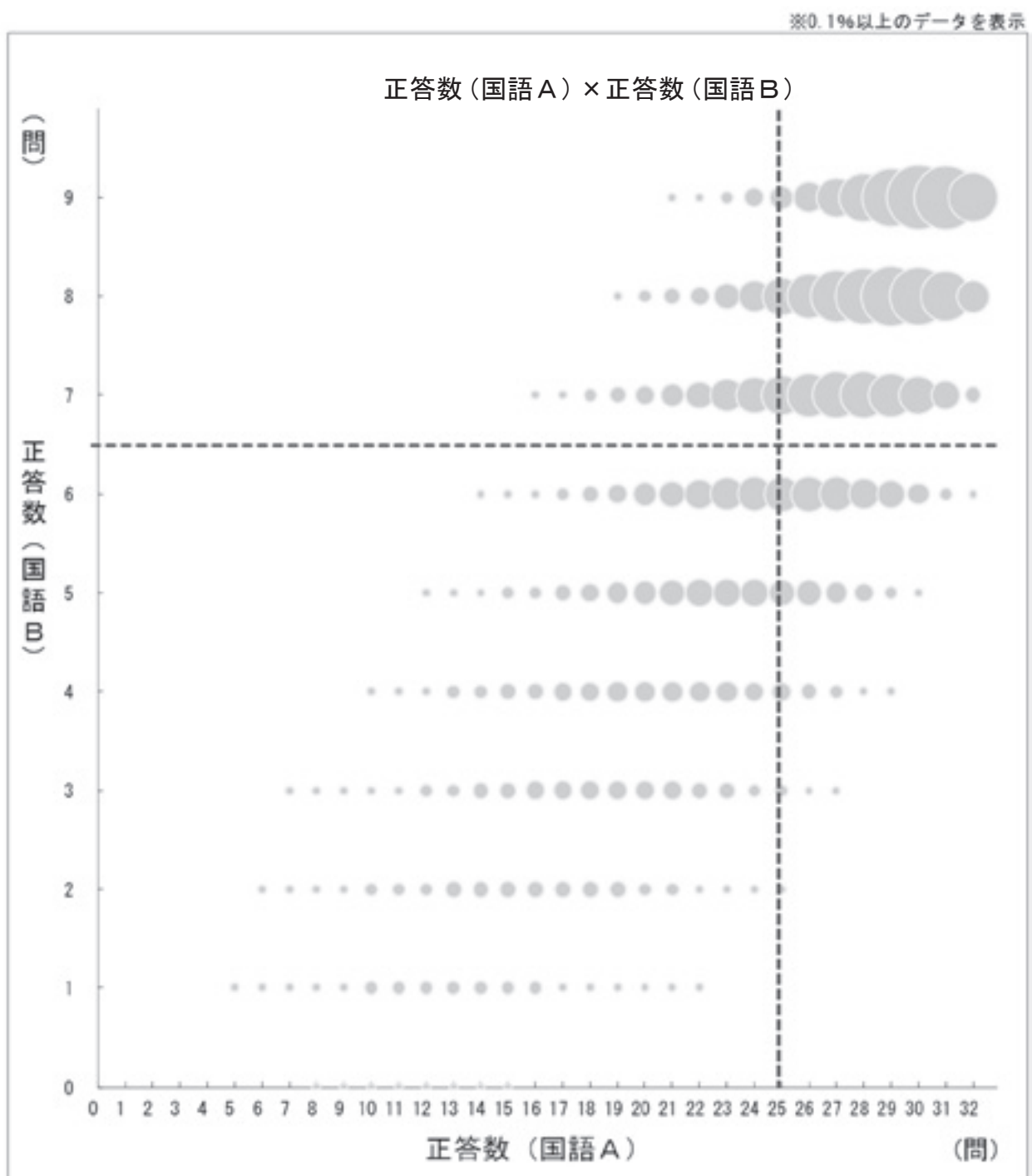
■国語Aと国語Bの相関等

- 中学校において、国語Aと国語Bの正答数に高い相関（相関係数 0.773）が見られる。
- 「国語Aは平均以上」かつ「国語Bは平均未満」の生徒の割合は 10.6%、「国語Aは平均未満」かつ「国語Bは平均以上」の生徒の割合は 8.5%となっている。

国語Aの正答数、国語Bの正答数、正答生徒数の相関をバブルチャートに表したもの。

※ バブルチャート：2軸の座標軸の上に、大きさが3軸目の指標を示す円状の図（バブル）を配置した図表。

生徒数	全国（国公立） 国語A平均正答数	全国（国公立） 国語B平均正答数	生徒の正答数分布状況（上段：生徒数 下段：生徒数の割合(%)）				相関係数
			国語A・国語B ともに平均以上	国語Aは平均以上 国語Bは平均未満	国語Aは平均未満 国語Bは平均以上	国語A・国語B ともに平均未満	
1,023,205	24.9	6.5	533,572	108,786	86,737	294,110	0.773
			52.1	10.6	8.5	28.7	

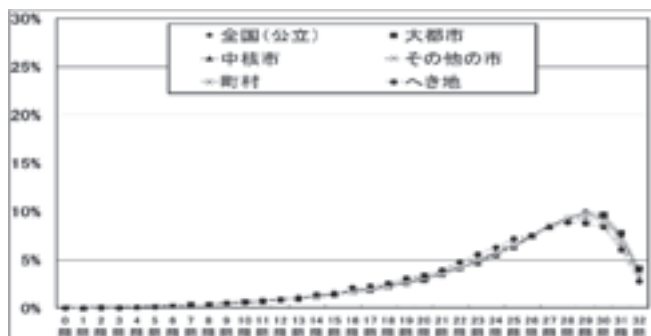


※グラフの点線は、全国（国公立）の平均正答数を表す。

(4) 地域の規模等の状況

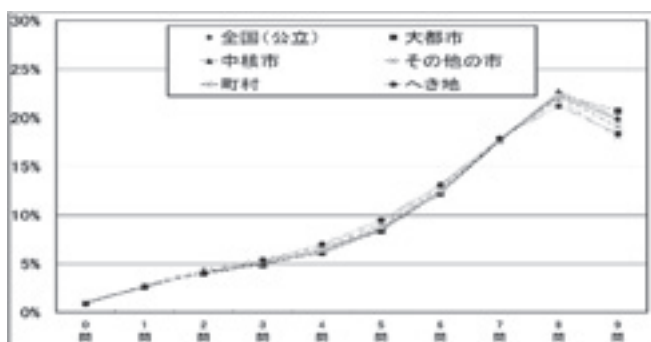
○ 平均正答数, 平均正答率, 中央値, 標準偏差を見ると, 28 年度同様, 地域の規模等 (公立: 大都市, 中核市, その他の市, 町村, へき地) による大きな差は見られない。

〔国語 A〕 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
全国 (公立)	982,511	24.8 / 32	77.4	26.0	5.7
大都市	238,915	24.9 / 32	77.7	26.0	5.8
中核市	150,099	24.9 / 32	77.7	26.0	5.6
その他の市	494,415	24.7 / 32	77.1	26.0	5.7
町村	89,578	24.5 / 32	76.5	26.0	5.6
へき地	15,163	24.4 / 32	76.2	26.0	5.5

〔国語 B〕 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
全国 (公立)	982,619	6.5 / 9	72.2	7.0	2.3
大都市	238,988	6.5 / 9	72.6	7.0	2.3
中核市	150,117	6.5 / 9	72.5	7.0	2.2
その他の市	494,461	6.5 / 9	71.8	7.0	2.3
町村	89,555	6.4 / 9	71.1	7.0	2.3
へき地	15,157	6.4 / 9	71.3	7.0	2.2

※大都市 (政令指定都市及び東京 23 区), 中核市, その他の市, 町村の値は, 当該地方公共団体の教育委員会が設置管理する公立学校に在籍する生徒の調査結果 (正答数) を集計したものである (都道府県立学校は含まない)。

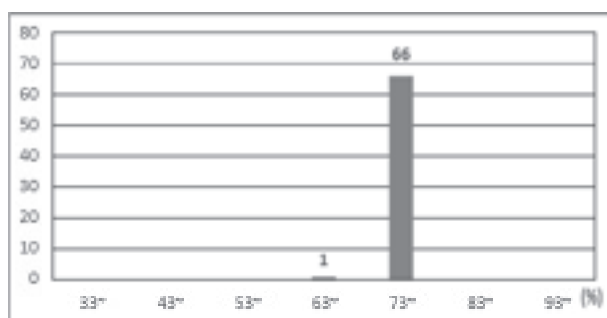
※へき地の値は, へき地教育振興法及び各都道府県の条例 (規則) によって指定された学校に在籍する生徒の調査結果を集計したものである。大都市, 中核市, その他の市, 町村の値に重複する。

(5) 都道府県・指定都市の状況

○ 各都道府県・指定都市 (公立) の状況については, 平均正答率を見ると, 28 年度同様, ほとんどの都道府県・指定都市が平均正答率の±5%の範囲内にあり, 大きな差は見られない。

〔国語 A〕

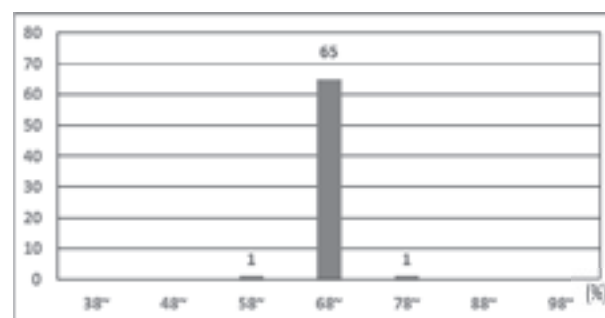
正答率分布グラフ (横軸: 平均正答率, 縦軸: 都道府県・指定都市数)



全国 (公立) の平均正答率	全都道府県市 (公立) 中, 最高平均正答率 【全国との差】	全都道府県市 (公立) 中, 最低平均正答率 【全国との差】
77%	82% 【+5%】	72% 【-5%】

〔国語 B〕

正答率分布グラフ (横軸: 平均正答率, 縦軸: 都道府県・指定都市数)



全国 (公立) の平均正答率	全都道府県市 (公立) 中, 最高平均正答率 【全国との差】	全都道府県市 (公立) 中, 最低平均正答率 【全国との差】
72%	78% 【+6%】	67% 【-5%】

※都道府県は指定都市を除く。全国 (公立) の平均正答率は整数値で表示している。

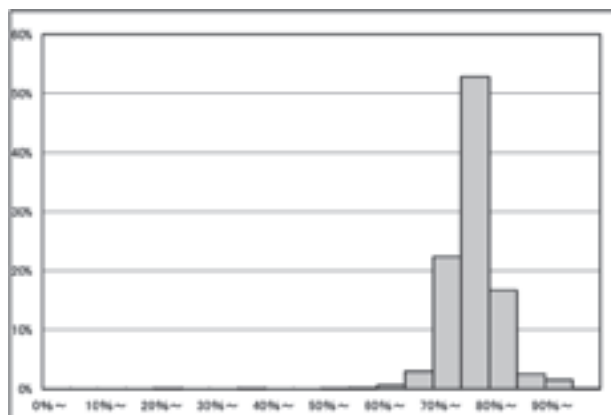
(6) 教育委員会の状況

○ 各教育委員会の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、28年度同様、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

[国語A]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率(%)	教育委員会の中央値(%)	教育委員会の標準偏差
1,775	24.7 / 32	77.1	77.2	4.7

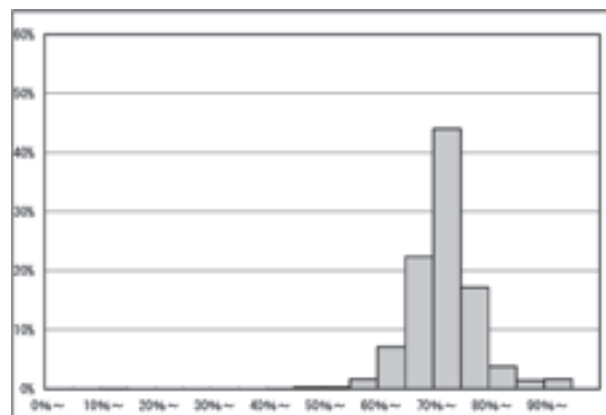
正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：教育委員会の割合）



[国語B]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率(%)	教育委員会の中央値(%)	教育委員会の標準偏差
1,775	6.5 / 9	71.9	71.9	6.3

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：教育委員会の割合）



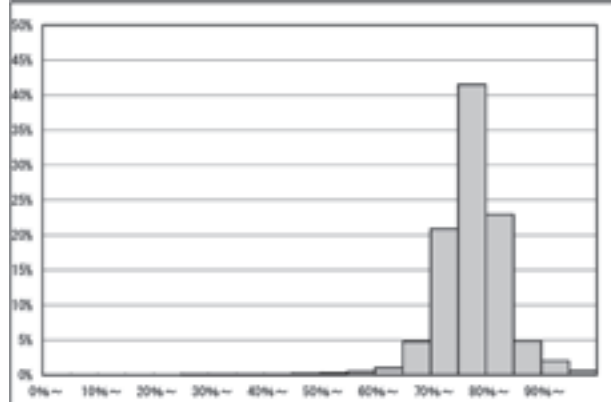
(7) 学校の状況

○ 各学校の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、28年度同様、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

[国語A]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率(%)	学校の中央値(%)	学校の標準偏差
9,982	24.8 / 32	77.4	77.7	6.6

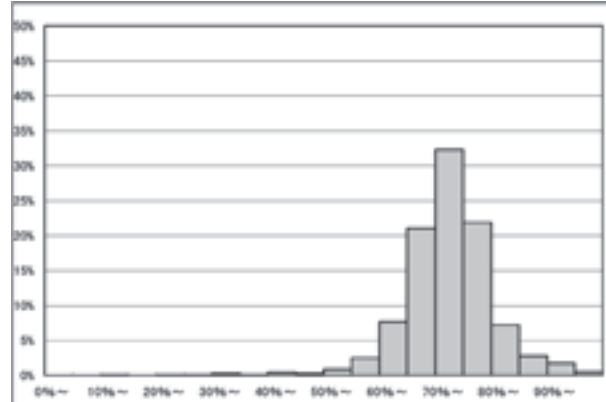
正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：学校の割合）



[国語B]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率(%)	学校の中央値(%)	学校の標準偏差
9,982	6.5 / 9	72.2	72.5	8.5

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：学校の割合）

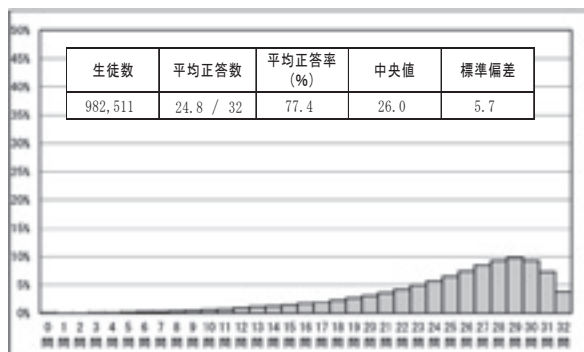


(8) 国・公・私立学校の状況

○ 国立・私立学校は一般的に入学者選抜を行っていることに留意する必要があるが、平均正答数について見ると、28年度同様、国立・私立学校は、公立学校を上回っている。

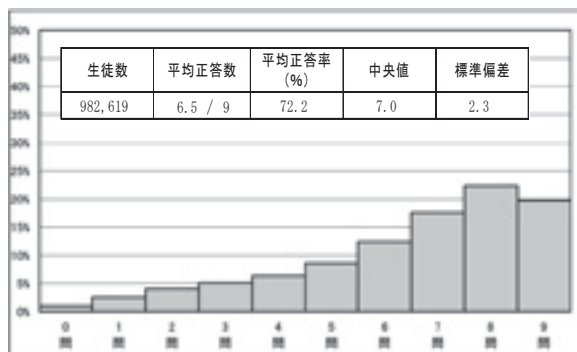
[国語A]

<公立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)

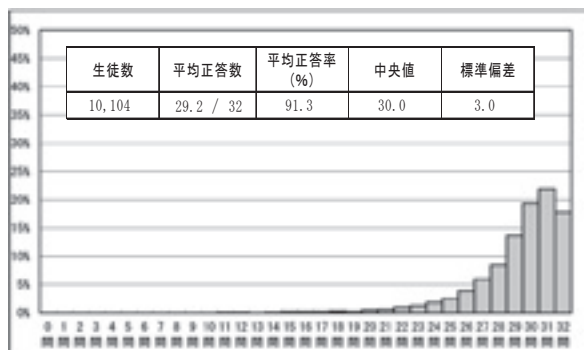


[国語B]

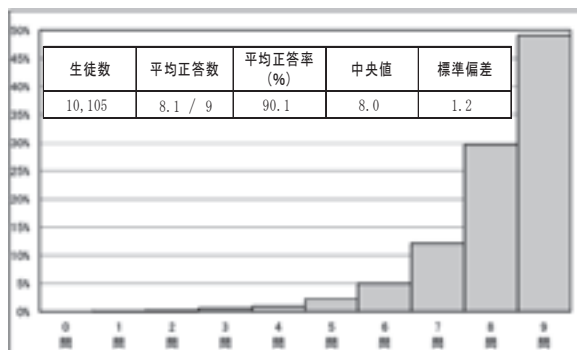
<公立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



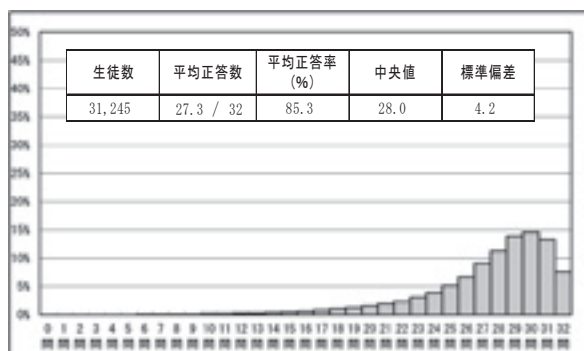
<国立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



<国立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



<私立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)



<私立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)

